

経営学研究科【教育課程の編成・実施方針】

経営学研究科では、以下に示す教育課程を編成し、実施している。

〔博士前期課程(修士課程)〕

経営学および隣接諸科学の専門知識を深く広く修得し、企業および様々な組織における諸現象、諸問題を分析し、洞察する能力を持った人材を育成する。そのための、理論、実践、国際化を3つの柱としたカリキュラムを編成している。

〔博士後期課程〕

経営学の専門的知識、思考方法、問題解決方法を修得し、学術研究・教育者あるいは高度専門実務者となる人材を育成する。そのため、入学時より指導教員の研究指導のもと、計画的に研究が進められるよう3か月ごとに研究の進捗度合いを評価する。さらに、下記のような日程で有能な大学院学生が3か年で博士号を取得できるように研究指導を進める。これらに加え、毎年秋に研究科教員と院生の前での研究発表をする機会を設け、よりレベルの高い研究を進めることができるよう支援している。

- 第1年次 10月 博士論文の中間報告
- 第2年次 10月 博士論文の中間報告
- 第3年次 10月 博士論文の原稿提出、予備審査
- 第3年次 11月～2月 複数回の論文審査（口述）
- 第3年次 3月 博士論文の審査終了

<研究環境について>

- ・ 大学院生専用の共同研究室およびコンピュータ室を設けている。
- ・ 大学院生共同研究室およびコンピュータ室に専用のコンピュータを用意し（学内LAN接続）、コンピュータを利用する研究体制が整備されている。
- ・ 大学院生用の研究紀要として、「中京経営紀要」を出版している。
- ・ 各大学院生に年間2,500枚分のコピーカードを支給している。
- ・ 図書資料費として、修士課程院生に年額35,000円、博士課程院生に年額50,000円を上限として支給している。
- ・ 大学院生が学会に参加する場合、学会参加補助費として、年額40,000円を上限として支給している。
- ・ 「日本語論文作成法」を自由科目として設け、留学生の日本語論文の作成を支援している。